

SNS がもたらすトラブルや犯罪に巻き込まれるリスクとは？

今や中学生・高校生の多くが自分専用のスマホを持っている時代。さらにスマホを使っている人のほとんどがSNSを利用しているでしょう。しかし、SNSには思わぬトラブルに巻き込まれたり、リスクを負ったりする危険性が潜んでいます。そこで、よくあるSNSトラブルの事例とリスクを避ける対策方法をご紹介します。



SNSのコミュニケーションは 便利な反面、トラブルを招く

スマホ（スマートフォン）を持っていてSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を利用している人は多いでしょう。主なSNSには、LINE、X（旧Twitter）、Instagram、YouTube、TikTok、Facebookがあります。さらにインターネットのコミュニケーションサイトやオンラインゲーム、フリマアプリなどを使っている人も増えています。

SNSを活用すると、複数の人たちと気軽にやりとりができます。例えば家族間で同時に連絡を取り合ったり、学校のクラスや部活動の情報を共有したり、いちいち集まらなくてもチャット機能で話合うこともできるでしょう。

友だちがSNSに投稿した写真を見ると、どこで何をしているかを知ることができますし、逆に自分のことを伝えるこ

とも。位置情報アプリを使えば、家族や友だちが今どこにいるかをタイムリーに確認できます。さらにSNS上では、同じ趣味や興味をもつ人と知り合い情報のやりとりを楽しむことで、コミュニケーションの幅が広がっていきます。

しかし、便利になったSNSがさまざまなトラブルを生み出して、社会問題にもなっています。学校や仲間内のリアルな世界だけでなく、SNS上でもいじめが起こったり、見知らぬ大勢の人から誹謗中傷を受けたり。SNSで出会った人に騙されて性被害に遭うケースも少なくありません。その他にも、詐欺被害や不当請求などの危険が潜んでいるのです。

SNSは匿名で不特定多数の人とやりとりができるため、犯罪が起こりやすく、被害を受けても、相手に逃げられてしまうケースがあります。では実際に、どんなトラブル事例があり、どう対策を取ればいいのでしょうか。

誹謗中傷 いじめ

SNSによる誹謗中傷やいじめは、中学生や高校生に限らず、さまざまところで問題になっています。グループトークで直接いじめを受けることもあれば、自分が知らないところで誹謗中傷されているケースもあり、中には面識のない不特定多数の人から攻撃を受けることもあるのです。



事例

SNSでは何気なく発信したことが炎上し、知らない人から暴言を吐かれる、脅迫めいたことを言われる、といったトラブルに発展することがあります。他人が自分になりすましてSNSに虚偽の書き込みをする、顔写真や個人情報などを無断で公開されることも。

いじめが起こりやすいのはLINEなどのグループトーク。特定の人に対し、みんなで攻撃することもあります。その人の発言だけ無視する、その人にとって不快な写真や動画を共有する、突然グループから外す、その人以外のグループを別にして悪口を言うなどのケースがあります。

対策

誹謗中傷やいじめの被害者にならないために、まずはSNSで安易に発信しないように気をつけましょう。何気ない言葉でも誰かを傷つけ、怒りを買うことがあるかもしれません。一度SNSにのせた情報は、拡散されて消すことが難しくなる場合もあります。

グループトークでは誹謗中傷される被害が多く、中学生や高校生では対応しきれないので、ひとりで悩まず親や警察に相談することも必要です。中立的な立場をとったり、個別に連絡したりして、グループトーク上でトラブルになりそうなときは、回避する方法を考えましょう。